

埼玉県から受託している「侵略的外来生物県民参加モニタリング調査」の方法を具体的に紹介する研修会を開催しました。県みどり自然課との共催で、モニタリング調査団体の方々も15名参加しました。

当日は、気まぐれな雲が一時風雨を呼ぶも、優しい日差しでまずまずの観察日和となりました。集合場所の櫛にはエナガ、シジューカラがお出迎え。外来種のリストや写真が配布され、調査方法の説明の後出発です。



次々に出てくる外来植物に講師の説明も参加者の眼差しも熱く、歩みは進みません。識別点や種名を確認し、ルーペで覗いたり触ったり、ついにはナヨクサフジのサヤを食べてみたり……。種名と調査項目（生活段階、大きさ広がり）の記号が印刷された調査票に○を付けて、メモをとりながら、色々気になることも多く、和気あいあいの楽しいおしゃべりもまじえての研修会となりました。

さて、私の学習効果は次のとおり。

- ・アイロセイトクハポポに席卷されるセイヨウタンポポ：ガクが反り返ってない！ ガクッ
- ・ヨコハママンネングサ：メキシコとツルだけじゃないの！葉はへら状で縁に突起。
- ・ヒメ様は頭でっかち毛がない：悩み多き姫様。ヒメムカシヨモギもこれで制覇??
- ・ヒメキキョウソウ：ここにも姫様@市民体育館。種を落とすヴィーナスの小窓が上。

途中、ひらひらと白いアカボシゴマダラ(春型)や田んぼでは白線を引くヌマガエル(写真参照)なども見られました。確認した外来植物は計40種にものぼりました。

タイムキーパーの努力をよそに当初のゴールは切れずにタイムアウト。最後はまとめてふさわしい外来種見本園のような所で解散となりました。

ますます広く深くなった外来生物の世界。気になる生きもの、気が散る日々はまだまだ続きそうです。  
(岡安玲子 記)

